

事業所名

サンスマイル ジュニア

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

2 月

28 日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-----|----|------|---------|----|--|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもたちと未来を創る」・・・特性や長所を活かして、社会で生きていく力を伸ばしていきます。 ・「すべての子どもやあなたに存在意義がある」・・・人を尊重する。ありのままを受容し人を活かす。 ・「支え愛」・・・利他の精神。必ず支えられ、自分も支えている。 | | | | | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な場の提供、特性を活かす、伸ばす。自己受容感・自己重要感を育む。 ・非日常体験の機会を増やす。やらせきる。手を出さず、代わりにやらない。 ・テーマを決め、ねらいを込め、特色に合わせた活動をする。「遊びの中に成長発達のねらいを込める」 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 14 時 | 0 分 | から | 17 時 | 0 分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気づけるよう、観察を行います。 ・来所時、退所時の身辺処理（靴の着脱、荷物の整理、手洗いうがいなど）を利用者様に合わせて実施し、習慣化できるように支援しています。 ・睡眠、食事、排せつなど基本的な生活リズムを身に付けられるように決まった時間での誘導と支援を行います。 ・1日の流れや、活動の説明などは、資格支援を用いるなど、利用者様の分かりやすい方法で伝え、不安なく安心して過ごすことが出来るよう支援します。 ・生活の中での課題を利用者様、ご家族様から伺い、個別支援として取り組みます。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動にて身体を使って遊びや乗馬を取り入れ、身体機能の維持・向上を図ります。 ・集団活動や製作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように、様々な体験を提供します。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援を行います。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごすことができるように支援します。 ・ルールやスケジュールを視覚化し、その場に適した行動が取れるように支援します。 ・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことで拘りや忌避感を軽減できるように支援します。 ・集団活動や自由遊びにて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることができるように支援します。 | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の特性に合わせた言葉を使い、会話を楽しみながらコミュニケーション能力向上を図ります。 ・利用者様の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 ・集団活動を通して、他者とのやりとりの場を提供し、職員が間に入り援助、支援をします。 ・絵カードやサインなどを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関わりを持てるように支援します。 ・思いに寄り添った言葉掛けに努め、職員と利用者の良好な関係形成を図ります。 ・他者との適正な距離感が把握できるよう、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 連絡帳、送迎時の会話などで随時情報提供するとともに、必要に応じて面談や参観する場を設け、不安やお困りごとへの相談援助を行います。 | | | | 移行支援 | | 学校や関係機関との情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。 | | |
| 地域支援・地域連携 | | 地域イベントや社会資源との触れ合いを通して地域との交流の機会を提供します。 | | | | 職員の質の向上 | | 社内での発達研修や虐待防止研修への参加、ジョブメドレー動画研修などによる職員の知識の習得や質の向上へ繋がっています。 | | |
| 主な行事等 | | び箱や大縄、マットを用いた運動療法と療育。集団活動を用いたソーシャルスキルトレーニング、お出かけやクッキングを通して非日常体験をしています。 | | | | | | | | |